

新施設の建設計画は

令和9年度稼働予定



大日向 進也 議員



現施設を解体し、新リサイクルセンターを整備

問 旧ごみ焼却施設解体後、新施設の建設計画は。町長 解体跡地に上山田不燃処理場と、プラスチックストックヤードを集約した、双方の機能を併せ持つ新たな施設整備を行い、令和9年度からの稼働を予定している。

問 新リサイクルセンター施設における処理対象物は。町長 新施設では、資源ごみとして缶、ビン、ペットボトル、プラスチック製容器包装を処理する。

また、有害ごみについては、これまでの蛍光管、乾電池に加え、新たに製品プラスチックの収集にも対応した施設づくりを行い、地域の資源循環を推進していく。

問 ごみ焼却施設解体に係る費用と新リサイクルセンター施設的设计建設に係る費用見込み額は。町長 物価上昇を勘案するなかで、既存施設の解体撤去工事費用は約11億円、新リサイクルセンター施設の建設工事費用は、約43億円を見込んでいる。今年度においては、事業者選定委員会により事業者選定を行い、入札に向けた準備を進めている。

難聴高齢者に補聴器を

検討していきたい



大森 茂彦 議員

補聴器助成

問 令和4年3月議会にて、町長は「明日は我が身か」と答弁があった。加齢による衰えで難聴になる高齢者が増えてくる。難聴は生活に支障をきたし、孤立や認知症の発症も指摘されている。認知

症の予防法は、聴力の低下を補聴器で補うことで予防になると指摘がある。高齢者が元気に社会生活ができるよう補聴器購入の助成制度の創設はできないか。

町長 制度の創設は慎重にやらなければいけない。やらないとは言っていない。音響装置なども含めて検討していきたい。

複合施設の充実のために

問 複合施設建設委員会に以下のことを要望する。①委員会に町民の一般公募の枠をつくる ②

会議ごとに公開を ③町民参加の部会を設ける等。

企画政策課長 ①人数が限られた公募よりも子育てや障がい者、中高生など意見交換を別に設ける ②素案ができたところで町民の意見を聞く ③部会の設置は状況に応じて柔軟に対応していく。

問 複合施設で健診も行うと思うが、医師などの意見を聞くべきではないか。企画政策課長 必要があるときは、医師など特定分野の方の意見も聞いていきたい。

新聞記事: 大町市が補聴器購入助成 長野県内12市町村に H2023.7/8 (土) 大町市の購入補助制度の当初予算は、45万円です。7月3日から受付開始が始まりました。対象は65歳以上、上限額は3万円。購入前に事前申請が必要です。...